

平成23年度 事業報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1. 概要

今年度は当財団にとって公益移行を行ってから初めてフルに1年間活動した年であった。

低金利による基本財産運用益の減少にともない活動規模縮小の可能性があったが、大阪ガス株式会社から寄附をうけ、従前の規模に並ぶ活動を維持することができた。また基本財産の満期償還も多くあり、現在の低金利下においては買換え債券について従来と同等の利率維持が困難と思われたが、欧州経済危機・歴史的な円高の状況下での債券相場混乱にもかかわらず、買換え前の債券とほぼ同率の利金水準を維持することができた。

財団の事業活動については、公益法人としてより公益性、公平性に留意するとともに、効率的・効果的な事業運営に努めた。

2. 事業の状況

(1) 助成事業

平成23年7月1日から9月15日の期間で募集を行い、その応募案件についての助成選考委員会を平成24年1月13日に開催して審議・選考した上、3月8日の理事会にて審議・決定した。

①高齢者福祉助成

近畿2府4県および4政令指定都市の社会福祉協議会を通じて募集を行うとともに財団ホームページにも掲載し、104件(対前年比113%)、金額1,655万円(同111%)の応募があり、このほぼ全数について事務局によりヒアリングを実施した。

選考に際しては、高齢社会における福祉活動の広がりや、地域に密着したボランティア活動の重要性に鑑み、応募団体の活動がより成果を上げられるよう、また幅広く応えられるように配慮し、90件、1,417万円の助成を採択した。

②調査・研究助成

近畿2府4県の大学、病院および各社会福祉協議会等に対して募集を行い、39件(対前年比80%)、金額3,262万円(対前年比71%)の応募があった。

選考に際しては、「テーマの重要性」、「研究方法の適切性」、「成果への期待度」などの観点から審査を行い、「福祉の向上」部門で4件、「健康の維持・増進」部門では13件、「分野横断的な課題」部門では2件の合計19件、1,525万円の助成を採択した。

<表A> 助成の応募と選考結果

(各欄のカッコ内は、平成22年度実績)

		応募		採択	
		件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)
高齢者福祉助成		104 (92)	1,655 (1,492)	90 (63)	1,417 (944.2)
研究・調査助成	福祉の向上	7 (8)	553 (720)	4 (1)	245 (100)
	健康の維持・増進	28 (37)	2,355 (3,498)	13 (5)	1,130 (400)
	分野横断的課題	4 (4)	354 (372)	2 (2)	150 (100)
合計		143 (139)	4,917 (5,992)	109 (71)	2,942 (1,544)

(2) 健康事業

高齢者の健康の増進を図る健康事業は、「健康のつどい」を中心に、延べ222回実施した。また、その他の財団主催の各事業も従来どおりの事業規模で実施した。

- ① 11種類の健康の維持・増進のためのメニューを高齢者の集まりに出前型で提供する「健康のつどい」は延べ189回開催した。会場を府県別にみると、大阪府が57.1%、京都府が12.7%、兵庫県が10.6%、奈良県が10.1%、滋賀県が6.9%、和歌山県が2.6%であった。従来からの課題であった兵庫県下での普及促進は徐々に効果が現れ、2桁となった。
- ② 各分野の専門の医師等が講師となり、オリジナルのテキストとスライドを用いて、高齢者にもわかりやすく工夫を凝らした健康講話を行う「健康教室」は延べ6回実施した。
- ③ 高齢者の健康に配慮した料理づくりの実習を行う「健康づくり料理講習会」は、大阪ガスッキングスクール（6拠点）で延べ22回開催した。
- ④ 「ウォーキング大会」、「歴史講座」は延べ5回実施した。開催当日は天候にも恵まれ、規模もほぼ計画どおり実施できた。

詳細な事業実施の状況は<表B>を参照されたい。

＜表B＞健康事業の実施状況

	平成23年度実績		平成23年度計画	
	回数	人数	回数	人数
健康のつどい	189回	11,972人	190回	11,000人
健康づくり教室	6回	1,522人	6回	1,300人
健康づくり料理講習会	22回	655人	21回	630人
ウォーキング大会	2回	2,172人	2回	2,400人
歴史講座 他	3回	420人	2回	400人
合 計	222回	16,321人	221回	15,730人

3. 適正な業務の執行を行うための体制の整備

(1) 寄附金取扱い規程

昨今の低金利下において現行の活動規模を維持していくためには、各種収入の増加をはかることが不可欠となる。そのため、公益法人化を踏まえて一般からの寄附金を募るべく「寄附金取扱い規程」を定め、寄附金の取扱いの適正化をはかった。

(2) 財産運用管理委員会の設置

現在の金融状況の不透明さに鑑み、財団事務局による財産の運用及び管理には限界があるため、「財産運用及び管理規程」を改定して財産運用管理委員会を設置し、財産の管理及び運用の適正化をはかった。

4. 収支状況

(1) 収 入

基本財産の利息収入は4,968万円となり、年間運用利回りは2.25%（前年度2.23%）となった。昨今の超低金利が継続している中で、できる限り利回りを低下させないように努めた。

また、財団活動用の資金として、大阪ガス(株)より3,000万円の寄附金を受けた。この結果、当期収入合計は8,002万円となった。

(2) 支 出

支出総額は8,049万円で、内訳は事業費7,019万円（構成比92.5%）、管理費691万円（同7.5%）となり、予算7,710万円に対する執行率は104.4%であった。

(3) 当期収支

当期収支差額は48万円の赤字となり、この結果、次期繰越収支差額は3,309万円となった。

<表C>平成23年度収支決算の概要〔費用配賦後〕

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(千円)

		平成23年度 予算 (A)	平成23年度 実績 (B)	差 額 (B) - (A)
収 入	基本財産利息収入	46,296	49,682	3,386
	雑 収 入	1	335	334
	小 計	46,297	50,017	3,720
	寄 付 金 収 入	30,000	30,000	0
	当 期 収 入 合 計	76,297	80,017	3,720
支 出	助 成 事 業 費	38,378	39,402	1,024
	健 康 事 業 費	31,655	35,016	3,361
	管 理 費	7,066	6,074	△992
	当 期 支 出 合 計	77,099	80,493	3,394
当 期 収 支 差 額		△802	△476	326
有 価 証 券 評 価 損		0	0	0
最 終 当 期 収 支 差 額		△802	△476	326
前 期 繰 越 収 支 差 額		33,567	33,567	0
次 期 繰 越 収 支 差 額		32,765	33,092	327

注1. 最終当期収支差額＝当期収支差額－有価証券評価損

注2. 次期繰越収支差額＝前期繰越収支差額＋最終当期収支差額

5. 財産の運用及び管理等

(1) 寄附金の受領

① 大阪ガス株式会社より平成23年4月25日に次のとおり寄附金を受領

② 寄附金の金額

・ 3,000万円

③ 寄附金の使途

・ 80%の2,400万円を公益目的事業として使用

・ 20%の600万円を法人会計管理費として使用

(2) 債券の購入

① 平成23年度は満期保有債券のうち、5億7,000万円の債券の償還になり、表Dのとおり買換えを実施した。

<表 D> 満期償還債券と買換え後債券一覧

満期日	満期の債券	額面	利率	買換え後の債券	購入時の格付	購入価格	利率	満期日	証券会社
2011.6.20	ロゼッタリミテッド	1億円	2.5%	ドイツ復興金融公庫既発ユーロ円債	AAA (S&P)	1億465万円	豪ドル連動74.6円以上の円レートで4.1%	2033.11.18 2016.3.18期限前償還条項(1豪ドル≧60円)	みずほ証券
2011.6.25	オリックス第116回社債	1000万円	1.77%	シティグループ円貨債	A(S&P)	1000万円	2.8%	2027.6.25	SMBC日興証券
2011.7.29	第2回三菱東京UFJ銀行(劣後債)	1億円	1.93%	ロイヤルバンクオブスコットランド	A+(S&P)	1億円	2.45%	2026.7.29	SMBC日興証券
2011.9.22	第268回北海道電力債	1億円	2.25%	担保証券ロイズのユーロ円建てリバースフロータ債	A+(S&P)	9920万円	4%-6ヶ月LIBOR(3.6%)	2021.1.28	野村證券
2011.12.20	第4回神戸製鋼社債	1億円	3.4%	担保証券バンクレイバンクPLCのリバースフロータ債	Aa3 (Moody's)	1億円	3.6%-6ヶ月LIBOR(3.2%)	2026.12.21	みずほインベスターズ証券
2011.12.22	みずほコーポ劣後債	5000万円	2.67%	マッコリーグループ円建社債	A2 (Moody's)	6000万円	2.73%	2021.11.22	SMBC日興証券
2011.12.22	第1回野村HD期限前償還付き社債	1.1億円	3.6%	モルガンスタンレーリパッケージ債	A(S&P)	1億円	3.20%	2019.1.7	みずほ証券

②定期預金満期に伴う債券の購入

9月26日に定期預金1,850万円が満期になったが、定期預金のままでは0.03%の利子率となるため、そのうちの1,000万円は期限1年の下記債券を購入し、残りの850万円を定期預金(利率0.025%)とした。

購入債券：バンクオブスコットランド 額面1,000万円、購入価格998.51万円
利率0.55% 格付Aa3 (Moody's) 満期2012.10.12
証券会社：SMB C日興証券

③運転資金余力分の対応

当座の運転資金の余力があった3000万円について、財団の予算執行状況を見ながら必要時に分割して現金化できるよう以下の2つの銘柄の債券を6月に購入した。なお、これらは資金需要による現金化の前になるよう、利払い日が2月のものを選択した。

- 1) GECC 額面1,000万円 満期日 2013.2.4 格付AA (S&P) 利率1.297%
- 2) 韓国輸出入銀行 額面2,000万円 満期日 2015.2.17 格付A (S&P) 利率1.01%

上記のうち、1)は3月の支出増に対応して現金化した。

6. 総務事項

(1) 理事会の開催

①第3回定例理事会 平成23年5月27日 大阪ガス本社ビル

<審議事項>

- ・第1号議案 平成22年度事業報告および決算
(平成22年10月1日～平成23年3月31日)
- ・第2号議案 評議員会における監事の選任議案
- ・第3号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項

<報告事項>

- ・報告第1号 理事長および専務理事の職務の執行状況について
審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

②第4回定例理事会 平成24年3月8日 大阪ガス本社ビル

<決議事項>

- ・第1号議案 平成23年度高齢者福祉助成選考結果及び平成23年度調査・研究
助成選考結果
- ・第2号議案 平成24年度事業計画、収支予算及び資金調達並びに設備投資の見込み
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
- ・第3号議案 寄附金取扱い規程の制定
- ・第4号議案 財産運用及び管理規程の改定
- ・第5号議案 常勤役員の報酬等の決定

<報告事項>

- ・報告第1号 大阪ガス株式会社から寄附を受ける件

・報告第2号 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

(2) 評議員会の開催

①第2回評議員会 平成23年6月14日 大阪ガス本社ビル (議事)

- ・報告第1号 社債の減損処理について (報告事項)
- ・報告第2号 大阪ガス株式会社からの寄附について (報告事項)
- ・報告第3号 平成22年度事業報告 (報告事項)
(平成22年10月1日～平成23年3月31日)
- ・第1号議案 平成22年度決算の計算書類及び財産目録 (審議事項)
(平成22年10月1日～平成23年3月31日)
- ・報告第4号 平成23年度事業計画及び収支予算 (報告事項)
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)
- ・第2号議案 監事の選任 (審議事項)
- ・第3号議案 理事の選任 (審議事項)
- ・第4号議案 評議員の選任 (審議事項)

審議の結果、すべて原案どおり承認可決された。

(3) 助成選考委員会の開催 平成24年1月13日 ホテルグランヴィア大阪

- ・第1号議案 平成23年度 調査・研究助成の助成先選考
 - ・第2号議案 平成23年度 高齢者福祉助成の助成先選考
- 以上の選考及び審議を行った。

(4) 役員等の人事

①監事の選任

- ・平成23年6月14日開催の第2回評議員会において、次のとおり監事1名を選任した。
監事 嶋田 薫氏

②理事の選任

- ・平成23年6月14日開催の第2回評議員会において、次のとおり理事1名を選任した。
理事 岩田 克夫氏

③評議員の選任

- ・平成23年6月14日開催の第2回評議員会において、次のとおり評議員1名を選任した。
評議員 中井 稔氏

(5) 官庁関係

①平成23年6月16日

- ・法務局へ登記（理事、監事及び評議員の選任の登記）

②平成23年6月24日

- ・内閣府へ事業報告等の提出（電子申請）1100134731 600001
- ・内閣府へ役員等の変更の届出を実施（電子申請）1000125931 600001

③平成24年3月22日

- ・内閣府へ事業計画書等の提出（電子申請）1200154387

以上